

Aukua MGA2510 v3.6.0 リリース

2024.8.29

Aukua Systems がAukua MGA2510 v3.6.0 のリリースを発表しました。

これは、多くの重要な新機能追加やパフォーマンス強化が含まれたメジャーリリースです。新しい機能を利用するためにMGA2510をアップグレードする方法については、3ページ目をご参照ください。

v3.6.0 の主な新機能と拡張された機能:

システムレベル(トラフィックジェネレータ、インラインキャプチャ&プロトコルアナライザ、およびネットワーク障害エミュレータ)

- 新しい統計ダッシュボード機能(ベータ版)

このリリースでは、新しい統計ダッシュボードの「ベータ」バージョンが含まれています。これは、MGA2510 のユーザーエクスペリエンスを最新化し、向上させるための大規模なプロジェクトの一部です。また、今後のリリースでは、新しいフロントエンドになるものへのアップデートを段階的に提供します。このリリースの新しいダッシュボードには、多くの新機能が追加されており、ユーザビリティが大幅に向上すると考えています。

新しいダッシュボードで提供される機能拡張の一部を次に示します:

- ライブラリ管理によるユーザーがカスタマイズ可能な統計およびグラフィックアウト
- 長い統計履歴グラフ(例: 24 時間)
- 複数の統計を含む折れ線グラフ
- グラフのズームイン/アウト機能
- グラフデータのエクスポート機能
- ラインまたはポイントオプションを含むライングラフ
- 「カスタム」計算統計の新しいライブラリ
- より関連性のある、または役立つ名前を持つテストポートにカスタム名前を付ける機能
- ライトビューモードと、ダークビューモード

- HTTPS サポート

顧客がコンプライアンス要件を満たすために、HTTPS によるセキュアな通信が利用できるようになりました。

- マルチギガ対応 BASE-T1車載イーサネットSFP(2.5G/5G/10G)がソフトウェア上で設定可能に

速度またはマスター/スレーブ選択を設定するために、SFP モジュールのディップスイッチを手動で設定する必要はなくなりました。これらの設定はすべて、MGA2510 API またはGUI 上で直接設定できます。

- 新しい統計を追加

- “直近”の最小/最大レイテンシ統計 (“トータル”の最小/最大レイテンシ統計に加え)
*トラフィックジェネレータのみ
- 光パワー測定(dBm)
- ポート帯域幅に対するネットワークパス帯域幅の割合(%)
*ネットワーク障害エミュレータのみ
- データロックアラーム(PCSデータロック)

- サポートされる新しいイーサタイプ

フィルターおよびクラシファイヤーライブラリに、Radio over Ethernet、Time-Triggered Ethernet (SAE AS6802)、およびPROFINET のイーサタイプ が追加されました。

トラフィックジェネレータ

- トリガ開始生成

トラフィックジェネレータには、フロントパネルのSMA TRIG-Inポートで立ち上がりエッジを受信すると自動的にトラフィック生成を開始するよう、設定できるようになりました。

- Energy Efficient Ethernet(EEE) Low Power Idle (LPI) 生成

Aukuaの業界トップクラスのEEEテスト機能の向上。トラフィックプロファイルと並行してLPIを生成し、システム側のインターフェースを介してPHYおよびMAC機器のEEE機能をテストおよびトラブルシューティングできるようになりました。

- 自動チェックサム計算を無効にするトラフィックジェネレータのUDPヘッダオプション

これにより、UDPチェックサムがゼロで上書きされます。

- 送信ppm制御の増加

BASE-X、BASE-Rなどのインターフェーススピードで、送信ppmの制御が+/-200ppmから+/-500ppmに増加しました。

- Wireshark LUA ファイルを更新

MGA2510からダウンロード可能なWireshark用のAukua Luaファイルが拡張され、送信タイムスタンプとシーケンス番号を示すAukua Signature Field (ASF) プロトコルを含むパケットをデコードできるようになりました。さらに、パケットごとに計算されたレイテンシが表示されます(キャプチャタイムスタンプ-送信タイムスタンプ)。

トラフィックジェネレータ&インラインキャプチャおよびプロトコルアナライザ

- USBストレージ管理の改善

フロントパネルのUSB 3.0ポートでUSBドライブにキャプチャファイルをダウンロードするだけでなく、ドライブ上のファイルに対してリモートで削除、検索、ソート、フォルダの作成ができるようになりました。また、exFATドライブフォーマットにも対応しました。

- SGMIIおよびUSXGMII強制速度動作

MGA2510は、オートネゴシエーションを無効にし、SGMIIまたはUSXGMII内でポート速度を強制する機能をサポートするようになりました。これにより、MGA2510の新しいユースケースが期待できます。

- 新しい5G-USXGMIIレート

AukuaのMGA2510に限り、USXGMIIを5Gbpsの回線速度で動作することに対応しました。

- L1キャプチャトリガおよびTRIG-Out SMAの新しいEoP (End of Packet)トリガイベント

EoPを受信すると、L1ビット(PCS)キャプチャをトリガできるようになりました。

- 拡張レイヤ1 PCSビューア

L1 PCSビューアが大幅に改良されました。検索機能がより強力になり、トリガーポイントへのジャンプが追加され、色分け機能が強化され、問題の発見がはるかに容易になりました。

リリースv3.6.0 ファイルのアップグレードと手順

アップグレードファイルと手順については、新しい「[Aukua Support Portal](#)」を参照してください。

「2クリック」アップグレードプロセス全体が完了するまでにかかる時間は、10分未満です。

メモ: このアップグレードには、新しいライセンスファイル(.aul) は必要ありません。ただし、Aukua ハードウェアで「USXGMII」または「EEE」機能が有効になっている場合を除きます。その場合は、Aukuaのサポートにお問い合わせの上、新しいライセンスをご依頼ください。

また、すでに次のリリースの準備が進められています。次のような機能が含まれます:

- トラフィックジェネレータ 変数IPG (Inter packet gap) 制御の拡張
 - インラインパケット変更- 受信パケットの内容を変更する機能
 - トラフィックジェネレータのナノ秒精度レイテンシヒストグラム
 - 25Gbイーサネットインラインキャプチャおよびプロトコルアナライザ
- ...ほか、多数の機能をアップデート予定

ご不明な点がございましたら東陽テクニカまでお知らせください。

東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 TEL.03-3245-1250 (直通) FAX.03-3246-0645

E-Mail : aukuasystems-sales@toyo.co.jp